

飲酒運転撲滅宣言企業

吉川工業 株式会社



○ 吉川工業 株式会社 様の紹介

『飲酒運転撲滅に向けて』

当社は1920年に官営八幡製鉄所様のパートナーとして創業し、鉄鋼分野で培った技術開発力とお役立ちの精神をDNAとして、エンジニアリング分野、表面処理分野、エレクトロニクス分野、ICT分野において、新たなお客様へ、新たなサービスと付加価値をご提供することにチャレンジし続けてきました。

今後も事業活動を通じて少子高齢化対策、生産性向上、人材育成等の来る社会の課題に取り組むとともに、豊かな発想とグループの総合力によって持続可能な社会の実現を目指してまいります。



企業HP : <https://www.ykc.co.jp/>

○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

① <<飲酒運転撲滅計画の策定>>

- ・飲酒運転撲滅計画を策定し、社員に対する研修等を実施しています。

② <<飲酒運転撲滅のための管理体制の整備>>

- ・組織的な飲酒運転撲滅の管理体制を整備し、実践しています。

③ <<従業員等への広報啓発活動>>

- ・社として積極的に交通安全県民運動等に参加して飲酒運転撲滅を訴え、社内報等で社員に周知するなど、飲酒運転防止を呼び掛けています。
- ・毎年策定する「安全衛生管理方針」に「飲酒運転撲滅」を掲げ、社員一人一人が厳守に努めています。
- ・啓発ポスターを食堂などに掲示し、日頃から従業員に対する啓発を行っています。
- ・年末には、従業員に対し、年末年始の重点取組事項を明示し、交通ルール・マナーの遵守を指導しています。

④ <<従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組>>

- ・運転前には必ずアルコールチェックを行い、「運行前点検表」の「アルコールチェック済」の項目に検知数値を記入します。
- ・ハンドルキーパー運動の一環として、「私は運転しますので、酒は遠慮します」のバッジを作成し、従業員が活用しています。
- ・出勤時間帯に、管理職が従業員に対し、「飲酒運転を見かけた場合の通報義務」や「飲酒運転の代償」、「アルコールの分解時間」についてのチラシを配布し、飲酒運転防止の徹底に努めています。

管理職によるチラシ配布!



⑤ <<従業員等への社内研修の実施>>

- ・八幡東警察署交通課長を講師として招き、毎年新入社員を対象に交通安全講話を開催、飲酒運転体験ゴーグルを用いて飲酒運転の危険性を実感させる等、飲酒運転は絶対してはいけないことを指導頂いています。

- ・加えて、「飲酒による影響・飲酒運転による処罰について」をテーマとして社内研修を行い、飲酒運転厳禁の徹底を図りました。

⑥ <<その他の取組>>

- ・交通安全県民運動や、飲酒運転撲滅キャンペーン、死亡事故ゼロを目指す日のキャンペーン等に参加し、飲酒運転撲滅を呼びかけました。

八幡東警察署と連携した新入社員向け交通安全講話！

「飲酒運転撲滅キャンペーン」への参加！



○ 吉川工業 株式会社 様にインタビューに答えていただきました！！

Q 1 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

- A 以前より交通安全活動の推進に取り組んできましたが、1986年に当時の社長が八幡東交通安全協会の会長に就任し、交通安全活動重点取組の一つであった「飲酒運転追放の推進」にこれまで以上に取り組むこととなったことがきっかけです。また、2006年に海の中道大橋で発生した飲酒運転事故など、このような悲惨な事故を発生させないよう、更に入れ飲酒運転の撲滅に取り組んで参りました。

Q 2 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

- A 取り組む以前から、「飲酒運転はしない、させない、許さない」という意識は社員個人個人にあったと思いますが、運転前のアルコールチェックやハンドルキーパー運動など、様々な取組を通じて飲酒運転防止を意識した社員の会話を聞くことが増え、より強い意識へと変化しているように感じています。

Q 3 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

- A 飲酒運転は犯罪です。飲酒運転を行って事故を起こし、人が亡くなるようなことになれば、被害者やその家族だけでなく、加害者やその周りの人達まで沢山の人が不幸になってしまいます。そして、それにより受けた心の傷は一生消えることはありません。そのような人を出さないためにも、飲酒運転撲滅運動を形骸化させない新たな取組を行い、飲酒運転の無い、安全安心な車社会の実現を目指し、これからも活動を継続していきます。